

「令和8年度プログラミング教育支援業務」 公募型プロポーザル審査要領

1 目的

この要領は、「令和8年度プログラミング教育支援業務」公募型プロポーザル実施要領（以下「実施要領」という。）に基づき実施する公募型プロポーザルにおいて、応募者からの提出物について、公平かつ適正な審査を行うために必要な事項を定めるものとする。

2 審査委員

審査委員は、和歌山県教育委員会所管公募型プロポーザル方式等事業者選定委員会の委員5名とする。

3 審査方法

審査委員は、公募型プロポーザル応募者から提出された企画提案書を、当該応募者によるプレゼンテーションを開いたうえで、実施要領に定める委託事業者の選定方法に基づき、別紙審査票に評価結果を記入するものとする。

4 採点方法

別紙審査票の審査項目に基づき、各項目の配点の合計を50点満点として各審査員が評価を行う。

ただし、各項目において提案をしていない、または提案の体裁が整っていない場合は、0点とする。

5 委託予定事業者の選定

(1) 各委員の評価点の合計が、満点の6割以上である企画提案を行った者のうち最高評価点の提案者1者を委託候補者とする。

(2) 最高評価点の者が複数いる場合は、原則として提案金額の安価な提案者を委託候補者とする。

提案金額も同額の場合は、選定委員会は、各評価内容を参考に、協議のうえ委託候補者を選定する。

(3) 提案者が1者の場合においても、審査会における評価の結果、各委員の評価点の合計が満点の6割以上に達している場合、当該提案者を委託候補者を選定する。

「令和8年度プログラミング教育支援業務」公募型プロポーザル 審査票

審査項目及び評価内容	評価点	換算 ウェイト	換算後の 評価点
1 業務従事者の知識・技能（15点）			
① 統括責任者の知識・技能 ・業務実施に必要な経歴や業務経験を持っているか ※常勤職員のみ	/5点		/5点
② プログラミング教育支援員の知識・技能 ・採用基準、研修方法は適切か ※常勤又は新規雇用・外部委託のいずれも可とする	/5点	×2	/10点
2 業務実施体制（15点）			
③ 業務実施に必要なかつ十分な人員・体制が確保されているか ・プログラミング教育支援員の体制、地域バランスは学校からの要望に柔軟に対応できるか	/5点	×2	/10点
④ 事故等への対応、欠員等が生じた場合の対応は適切か	/5点		/5点
3 業務遂行方法（15点）			
⑤ プログラミング教育支援員の派遣計画の作成方法 ・学校からの派遣要望の集約、地域別・校種別のバランス、効率良い支援	/5点		/5点
⑥ プログラミング教育支援員の業務管理方法は適切か ・教員の要望に応じた支援ができているか等の業務履行状況の把握方法	/5点		/5点
⑦ プログラミング教育支援員の指導方法は適切か ・業務改善の指導方法	/5点		/5点
4 見積額及び積算内訳（5点）			
⑧ 適正かつ安価な積算金額となっているか	/5点		/5点
合 計			/50点